

外来語の表記

前 書 き

- 1 この『外来語の表記』は、法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表すための「外来語の表記」のよりどころを示すものである。
- 2 この『外来語の表記』は、科学、技術、芸術その他の各種専門分野や個々人の表記にまで及ぼそうとするものではない。
- 3 この『外来語の表記』は、固有名詞など（例えば、人名、会社名、商品名等）でこれによりがたいものには及ぼさない。
- 4 この『外来語の表記』は、過去に行われた様々な表記（「付」参照）を否定しようとするものではない。
- 5 この『外来語の表記』は、「本文」と「付録」から成る。「本文」には「外来語の表記」に用いる仮名と符号の表を掲げ、これに留意事項その1（原則的な事項）と留意事項その2（細則的な事項）を添えた。「付録」には、用例集として、日常よく用いられる外来語を主に、留意事項その2に例示した語や、その他の地名・人名の例などを五十音順に掲げた。

本 文

「外来語の表記」に用いる仮名と符号の表

- 1 第1表に示す仮名は、外来語や外国の地名・人名を書き表すのに一般的に用いる仮名とする。
- 2 第2表に示す仮名は、外来語や外国の地名・人名を原音や原つづりになるべく近く書き表そうとする場合に用いる仮名とする。
- 3 第1表・第2表に示す仮名では書き表せないような、特別な音の書き表し方については、ここでは取決めを行わず、自由とする。
- 4 第1表・第2表によって語を書き表す場合には、おおむね留意事項を適用する。

第1表									
ア	イ	ウ	エ	オ					
カ	キ	ク	ケ	コ				シエ	
サ	シ	ス	セ	ソ				チエ	
タ	チ	ツ	テ	ト	ツア			ツエ	ツオ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ		テイ			
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ファ	フィ		フェ	フォ
マ	ミ	ム	メ	モ				ジェ	
ヤ		ユ		ヨ		デイ			
ラ	リ	ル	レ	ロ			デュ		
ワ									
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ					
ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ					
ダ			デ	ド					
バ	ビ	ブ	ベ	ボ					
パ	ピ	プ	ペ	ポ					
キャ		キュ		キョ				イエ	
シャ		シュ		ショ		ウイ		ウエ	ウオ
チャ		チュ		チョ	クア	クイ		クエ	クオ
ニャ		ニユ		ニョ		ツイ			
ヒャ		ヒユ		ヒョ			トウ		
ミャ		ミユ		ミョ	グア				
リャ		リュ		リョ			ドウ		
ギャ		ギユ		ギョ	ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
ジャ		ジュ		ジョ			テユ		
ビャ		ビユ		ビョ			フユ		
ピャ		ピユ		ピョ			ヴユ		
ン (撥音)									
ツ (促音)									
ー (長音記号)									

留意事項その1（原則的な事項）

- 1 この『外来語の表記』では、外来語や外国の地名・人名を片仮名で書き表す場合のことを扱う。
- 2 「ハンカチ」と「ハンケチ」、「グローブ」と「グラブ」のように、語形にゆれのあるものについて、その語形をどちらかに決めようとはしていない。
- 3 語形やその書き表し方については、慣用が定まっているものはそれによる。分野によって異なる慣用が定まっている場合には、それぞれの慣用によって差し支えない。
- 4 国語化の程度の高い語は、おおむね第1表に示す仮名で書き表すことができる。一方、国語化の程度がそれほど高くない語、ある程度外国語に近く書き表す必要のある語——特に地名・人名の場合——は、第2表に示す仮名を用いて書き表すことができる。
- 5 第2表に示す仮名を用いる必要がない場合は、第1表に示す仮名の範囲で書き表すことができる。
例 イエ→イエ ウォ→ウオ トウ→ツ, ト ヴァ→バ
- 6 特別な音の書き表し方については、取決めを行わず、自由とすることとしたが、その中には、例えば、「スイ」「ズィ」「グィ」「グェ」「グォ」「キェ」「ニェ」「ヒェ」「フョ」「ヴョ」等の仮名が含まれる。

留意事項その2（細則的な事項）

以下の各項に示す語例は、それぞれの仮名の用法の一例として示すものであって、その語をいつもそう書かなければならないことを意味するものではない。語例のうち、地名・人名には、それぞれ（地）、（人）の文字を添えた。

I 第1表に示す「シエ」以下の仮名に関するもの

- 1 「シエ」「ジェ」は、外来音シエ、ジェに対応する仮名である。

〔例〕 シェーカー シェード ジェットエンジン ダイジェスト

シエフィールド（地） アルジェリア（地）

シェークスピア（人） ミケランジェロ（人）

注 「セ」「ゼ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 ミルクセーキ ゼラチン

- 2 「チェ」は、外来音チェに対応する仮名である。

〔例〕 チェーン チェス チェック マンチェスター（地） チェーホフ（人）

- 3 「ツァ」「ツェ」「ツォ」は、外来音ツァ、ツェ、ツォに対応する仮名である。

〔例〕 コンツェルン シャンツェ カンツォーネ
フィレンツェ（地） モーツァルト（人） ツェッペリン（人）

4 「ティ」「ディ」は、外来音ティ、ディに対応する仮名である。

〔例〕 ティーパーティー ボランティア ディーゼルエンジン ビルディング
アトランティックシティー（地） ノルマンディー（地）
ドニゼッティ（人） ディズニー（人）

注1 「チ」「ジ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 エチケツト スチーム プラスチック スタジアム スタジオ ラジオ
チロル（地） エジソン（人）

注2 「テ」「デ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 ステッキ キャンデー デザイン

5 「ファ」「フィ」「フェ」「フォ」は、外来音ファ、フィ、フェ、フォに対応する仮名である。

〔例〕 ファイル フィート フェンシング フォークダンス
バッファロー（地） フィリピン（地） フェアバンクス（地） カリフォルニア（地）
ファーブル（人） マンスフィールド（人） エツフェル（人） フォスター（人）

注1 「ハ」「ヒ」「ヘ」「ホ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 セロハン モルヒネ プラットホーム ホルマリン メガホン

注2 「ファン」「フィルム」「フェルト」等は、「ファン」「フィルム」「フェルト」と書く慣用もある。

6 「デュ」は、外来音デュに対応する仮名である。

〔例〕 デュエット プロデューサー デュッセルドルフ（地） デューイ（人）

注 「ジュ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 ジュース（deuce） ジュラルミン

II 第2表に示す仮名に関するもの

第2表に示す仮名は、原音や原つづりになるべく近く書き表そうとする場合に用いる仮名で、これらの仮名を用いる必要がない場合は、一般的に、第1表に示す仮名の範囲で書き表すことができる。

1 「イエ」は、外来音イエに対応する仮名である。

〔例〕 イエルサレム（地） イエーツ（人）

注 一般的には、「イエ」又は「エ」と書くことができる。

〔例〕 エルサレム（地） イエーツ（人）

2 「ウイ」「ウエ」「ウオ」は、外来音ウイ、ウエ、ウオに対応する仮名である。

〔例〕 ウイスキー ウエディングケーキ ストップウォッチ

ウィーン（地） スウェーデン（地） ミルウォーキー（地）

ウィルソン（人） ウェブスター（人） ウォルポール（人）

注1 一般的には、「ウイ」「ウエ」「ウオ」と書くことができる。

〔例〕 ウイスキー ウイット ウエディングケーキ ウエハース ストップウォッチ

注2 「ウ」を省いて書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 サンドイッチ スイッチ スイートピー

注3 地名・人名の場合は、「ウイ」「ウエ」「ウオ」と書く慣用が強い。

3 「クア」「クイ」「クエ」「クオ」は、外来音クア、クイ、クエ、クオに対応する仮名である。

〔例〕 クアルテット クインテット クエスチョンマーク クォーター

注1 一般的には、「クア」「クイ」「クエ」「クオ」又は「カ」「キ」「ケ」「コ」と書くことができる。

〔例〕 クアルテット クインテット クエスチョンマーク クォーター

カルテット レモンスカッシュ キルティング イコール

注2 「クア」は、「クワ」と書く慣用もある。

4 「グア」は、外来音グアに対応する仮名である。

〔例〕 グアテマラ（地） パラグアイ（地）

注1 一般的には、「グア」又は「ガ」と書くことができる。

〔例〕 グアテマラ（地） パラグアイ（地）

ガテマラ（地）

注2 「グア」は、「グワ」と書く慣用もある。

5 「ツイ」は、外来音ツイに対応する仮名である。

〔例〕 ソルジェニーツィン（人） ティツィアーノ（人）

注 一般的には、「チ」と書くことができる。

〔例〕 ライプチヒ（地） ティチアーノ（人）

6 「トゥ」「ドウ」は、外来音トゥ、ドウに対応する仮名である。

〔例〕 トールーズ（地） ハチャトリヤン（人） ヒンドゥー教

注 一般的には、「ツ」「ズ」又は「ト」「ド」と書くことができる。

〔例〕 ツアー（tour） ツーピース ツールーズ（地） ヒンズー教

ハチャトリヤン（人） ドビュッシー（人）

7 「ヴァ」「ヴィ」「ヴ」「ヴェ」「ヴォ」は、外来音ヴァ、ヴィ、ヴ、ヴェ、ヴォに対応する仮名である。

〔例〕 ヴァイオリン ヴィーナス ヴェール

ヴィクトリア（地） ヴェルサイユ（地） ヴォルガ（地）

ヴィヴァルディ（人） ヴラマンク（人） ヴォルテール（人）

注 一般的には「バ」「ビ」「ブ」「ベ」「ボ」と書くことができる。

〔例〕 バイオリン ビーナス ベール

ビクトリア（地） ベルサイユ（地） ボルガ（地）

ビバルディ（人） ブラマンク（人） ボルテール（人）

8 「テュ」は、外来音テュに対応する仮名である。

〔例〕 テューバ（楽器） テュニジア（地）

注 一般的には、「チュ」と書くことができる。

〔例〕 コスチューム スチュワードス チューバ チューブ チュニジア（地）

9 「フュ」は、外来音フュに対応する仮名である。

〔例〕 フュージョン フュン島（地・デンマーク） ドレフュス（人）

注 一般的には、「ヒュ」と書くことができる。

〔例〕 ヒューズ

10 「ヴュ」は、外来音ヴュに対応する仮名である。

〔例〕 インタヴュー レヴュー ヴュイヤール（人・画家）

注 一般的には、「ビュ」と書くことができる。

〔例〕 インタビュー レビュー ビュイヤール（人）

Ⅲ ^{はっ}撥音、促音、長音その他に関するもの

1 撥音は、「ン」を用いて書く。

〔例〕 コンマ シャンソン トランク メンバー ランニング ランプ

ロンドン（地） レンブラント（人）

注1 撥音を入れない慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 イニング（←インニング） サマータイム（←サンマータイム）

注2 「シンポジウム」を「シムポジウム」と書くような慣用もある。

2 促音は、小書きの「ッ」を用いて書く。

〔例〕 カップ シャッター リュックサック ロッテルダム (地) バッハ (人)

注 促音を入れない慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 アクセサリー (←アクセッサリー) フィリピン (地) (←フィリッピン)

3 長音は、原則として長音符号「ー」を用いて書く。

〔例〕 エネルギー オーバーコート グループ ゲーム ショー テーブル パーティー
ウェールズ (地) ポーランド (地) ローマ (地) ゲーテ (人) ニュートン (人)

注1 長音符号の代わりに母音字を添えて書く慣用もある。

〔例〕 バレエ (舞踊) ミイラ

注2 「エー」「オー」と書かず、「エイ」「オウ」と書くような慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 エイト ペイント レイアウト スペイン (地) ケインズ (人)
サラダボウル ボウリング (球技)

注3 英語の語末の -er, -or, -ar などに当たるものは、原則としてア列の長音とし長音符号「ー」を用いて書き表す。ただし、慣用に応じて「ー」を省くことができる。

〔例〕 エレベーター ギター コンピューター マフラー
エレベータ コンピュータ スリッパ

4 イ列・エ列の音の次のアの音に当たるものは、原則として「ア」と書く。

〔例〕 グラビア ピアノ フェアプレー アジア (地) イタリア (地) ミネアポリス (地)

注1 「ヤ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 タイヤ ダイヤモンド ダイヤル ベニヤ板

注2 「ギリシャ」「ペルシャ」について「ギリシア」「ペルシア」と書く慣用もある。

5 語末 (特に元素名等) の -(i)um に当たるものは、原則として、「-(イ)ウム」と書く。

〔例〕 アルミニウム カルシウム ナトリウム ラジウム
サナトリウム シンポジウム プラネタリウム

注 「アルミニウム」を「アルミニウム」と書くような慣用もある。

6 英語のつづりの x に当たるものを「クサ」「クシ」「クス」「クソ」と書くか、「キサ」「キシ」「キス」「キソ」と書くかは、慣用に従う。

〔例〕 タクシー ボクシング ワックス オックスフォード (地)
エキストラ タキシード ミキサー テキサス (地)

7 拗音ように用いる「ヤ」「ユ」「ヨ」は小書きにする。また、「ヴァ」「ヴィ」「ヴェ」「ヴォ」や「トゥ」

のように組み合わせて用いる場合の「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」も、小書きにする。

- 8 複合した語であることを示すための、つながりの符号の使い方については、それぞれの分野の慣用に従うものとし、ここでは取決めを行わない。

〔例〕 ケース バイ ケース ケース・バイ・ケース ケース-バイ-ケース
マルコ・ポーロ マルコ=ポーロ

付 録

用 例 集

凡 例

- 1 ここには、日常よく用いられる外来語を主に、本文の留意事項その2（細則的な事項）の各項に例示した語や、その他の地名・人名の例などを五十音順に掲げた。地名・人名には、それぞれ（地）、（人）の文字を添えた。
- 2 外来語や外国の地名・人名は、語形やその書き表し方の慣用が一つに定まらず、ゆれのあるものが多い。この用例集においても、ここに示した語形やその書き表し方は、一例であって、これ以外の書き方を否定するものではない。なお、本文の留意事項その2に両様の書き方が例示してある語のうち主なものについては、バイオリン／ヴァイオリンのような形で併せ掲げた。

【ア】	イエスペルセン（人）	ウエハース
アーケード	イエナ（地）	ウェブスター（人）
アイスクリーム	イエローストン（地）	ウォルポール（人）
アイロン	イギリス（地）	ウラニウム
アインシュタイン（人）	イコール	【エ】
アカデミー	イスタンブール（地）	エイト
アクセサリー	イタリア（地）	エキス
アジア（地）	イニング	エキストラ
アスファルト	インタビュー／インタヴュー	エジソン（人）
アトランティックシティ（地）	インド（地）	エジプト（地）
アナウンサー	インドネシア（地）	エチケット
アパート	インフレーション	エッフェル（人）
アフリカ（地）	【ウ】	エネルギー
アメリカ（地）	ウィークデー	エプロン
アラビア（地）	ウィーン（地）	エルサレム／イエルサレム（地）
アルジェリア（地）	ウイスキー／ウィスキー	エレベーター／エレベータ
アルバム	ウイット	【オ】
アルファベット	ウィルソン（人）	オーエン（人）
アルミニウム	ウェールズ（地）	オーストラリア（地）
アンケート	ウエスト waist	オートバイ
【イ】	ウエディングケーキ	オーバーコート
イエーツ／イェーツ（人）	／ウエディングケーキ	オックスフォード（地）

オフィス
 オホーツク (地)
 オリンピック
 オルガン
 オレンジ
 【カ】
 ガーゼ
 カーテン
 カード
 カーブ
 カクテル
 ガス
 ガソリン
 カタログ
 カット
 カップ
 カバー
 カムチャツカ (地)
 カメラ
 ガラス
 カリフォルニア (地)
 カルシウム
 カルテット
 カレンダー
 カロリー
 ガンジー (人)
 カンツォーネ
 【キ】
 ギター
 キムチ
 キャベツ
 キャンデー
 キャンプ
 キュリー (人)
 ギリシャ／ギリシア (地)

キリマンジャロ (地)
 キルティング
 【ク】
 グアテマラ／グアテマラ (地)
 クイーン
 クイズ
 クインテット
 クーデター
 クーポン
 クエスチョンマーク
 クォーター／クォーター
 グラビア
 クラブ
 グランドキャニオン (地)
 クリスマスツリー
 グリニッジ (地)
 グループ
 グレゴリウス (人)
 クレジット
 クレヨン
 【ケ】
 ケインズ (人)
 ゲーテ (人)
 ケープタウン (地)
 ケーブルカー
 ゲーム
 ケンタッキー (地)
 ケンブリッジ (地)
 【コ】
 コーヒー
 コールタール
 コスチューム
 コップ
 コピー
 コペルニクス (人)

コミュニケーション
 コロンブス (人)
 コンクール
 コンクリート
 コンツェルン
 コンピューター／コンピュータ
 コンマ
 【サ】
 サーカス
 サービス
 サナトリウム
 サハラ (地)
 サファイア
 サマータイム
 サラダボウル
 サラブレッド
 サンドイッチ
 サンパウロ (地)
 【シ】
 シーボルト (人)
 シェーカー
 シェークスピア (人)
 シェード
 ジェットエンジン
 シェフィールド (地)
 ジェンナー (人)
 シドニー (地)
 ジブラルタル (地)
 ジャカルタ (地)
 シャツ
 シャッター
 シャベル
 シャンソン
 シャンツェ
 シュークリーム

ジュース juice, deuce
シュールベルト (人)
ジュラルミン
ショー
ショパン (人)
シラー (人)
シンフォニー
シンポジウム

【ス】

スイートピー
スイッチ
スイング
スウェーデン (地)
スーツケース
スープ
スカート
スキー
スケート
スケール
スコール
スコップ
スター
スタジアム
スタジオ
スタンダード (人)
スチーム
スチュワード
ステージ
ステッキ
ステレオ
ステンドグラス
ステンレス
ストーブ
ストックホルム (地)

ストップウォッチ
/ストップウォッチ

スプーン
スペイン (地)
スペース
スポーツ
ズボン
スリッパ

【セ】

セーター
セーラー [~服]
セメント
ゼラチン
ゼリー
セルバンテス (人)
セロハン
センター
セントローレンス (地)

【ソ】

ソウル (地)
ソーセージ
ソファ
ソルジェニーツィン (人)

【タ】

ダーウィン (人)
ターナー (人)
ダイジェスト
タイヤ
ダイヤモンド
ダイヤル
タオル
タキシード
タクシー
タヒチ (地)
ダンス

【チ】

チーズ
チーム
チーフ (人)
チェーン
チェス
チェック
チケット
チップ
チーフ
チャイコフスキー (人)
チューバ/テューバ
チューブ
チューリップ
チュニジア/テュニジア (地)
チョコレート
チロル (地)

【ツ】

ツアー tour
ツーピース
ツールズ/トゥールズ (地)
ツェッペリン (人)
ツンドラ

【テ】

ティー
ディーゼルエンジン
ディズニー (人)
ティチアーノ/ティツィアーノ (人)
ディドロ (人)
テーブ
テーブル
デカルト (人)
テキサス (地)
テキスト
デザイン

テスト	【ニ】	バレエ〔舞踊〕
テニス	ニーチェ（人）	バレーボール
テネシー（地）	ニュース	ハンドル
デパート	ニュートン（人）	【ヒ】
デューイ（人）	ニューヨーク（地）	ピアノ
デューラー（人）	【ネ】	ビーナス／ヴィーナス
デュエット	ネーブル	ビール
デュッセルドルフ（地）	ネオンサイン	ビクトリア／ヴィクトリア（地）
テレビジョン	ネクタイ	バスケット
テント	【ノ】	ビスマルク（人）
テンポ	ノーベル（人）	ビゼー（人）
【ト】	ノルウェー（地）	ビタミン
ドア	ノルマンディー（地）	ビニール
ドーナツ	【ハ】	ビバルディ／ヴィヴァルディ （人）
ドストエフスキー（人）	パーティー	ビュイヤール／ヴュイヤール （人）
ドニゼッティ（人）	バイオリン／ヴァイオリン	
ドビュッシー（人）	ハイキング	
トマト	ハイドン（人）	ヒューズ
ドライブ	ハイヤー	ビルディング
ドライヤー	バケツ	ヒンズー教／ヒンドゥー教
トラック	バス	ピンセット
ドラマ	パスカル（人）	【フ】
トランク	バター	ファーブル（人）
トルストイ（人）	ハチャトリヤン ／ハチャトウリヤン（人）	ファイル
ドレス		ファッション
ドレフュス（人）	バッハ（人）	ファラデー（人）
トロフィー	バッファロー（地）	ファン
トンネル	バドミントン	フィート
【ナ】	バトン	フィクション
ナイアガラ（地）	バナナ	フィラデルフィア（地）
ナイフ	ハノイ（地）	フィリピン（地）
ナイル（地）	パラグアイ／パラグアイ（地）	フィルム
ナトリウム	パラフィン	フィレンツェ（地）
ナポリ（地）	パリ（地）	フィンランド（地）
	バルブ	プール

フェアバンクス (地)	ベランダ	マッターホーン (地)
フェアプレー	ペリー (人)	マドリード (地)
ブエノスアイレス (地)	ヘリウム	マニラ (地)
フェルト	ヘリコプター	マフラー
フェンシング	ベルサイユ／ヴェルサイユ(地)	マラソン
フォーク	ペルシャ／ペルシア (地)	マンション
フォークダンス	ヘルシンキ (地)	マンسفールド (人)
フォード (人)	ヘルメット	マンチェスター (地)
フォーム	ベルリン (地)	マンモス
フォスター (人)	ペンギン	【ミ】
プディング	ヘンデル (人)	ミイラ
フュージョン	【ホ】	ミキサー
フュン島 (地)	ホイットマン (人)	ミケランジェロ (人)
ブラームス (人)	ボウリング [球技]	ミシシッピ (地)
ブラシ	ホース	ミシン
プラスチック	ボートレース	ミッドウエー (地)
プラットホーム	ポーランド (地)	ミネアポリス (地)
プラネタリウム	ボーリング boring	ミュンヘン (地)
ブラマンク／ヴラマンク (人)	ボクシング	ミルウォーキー (地)
フランクリン (人)	ポケット	ミルクセーキ
ブレーキ	ポスター	【メ】
フロイト (人)	ボストン (地)	メーカー
プログラム	ボタン	メーカーキャップ
プロデューサー	ボディー	メーデー
【ヘ】	ホテル	メガホン
ヘアピン	ホノルル (地)	メッセージ
ペイント	ボランティア	メロディー
ベーカリー	ボルガ／ヴォルガ (地)	メロン
ヘーゲル (人)	ボルテール／ヴォルテール(人)	メンデル (人)
ベーコン	ポルトガル (地)	メンデルスゾーン (人)
ページ	ホルマリン	メンバー
ベール／ヴェール	【マ】	【モ】
ベストセラー	マージャン	モーター
ペダル	マイクロホン	モーツァルト (人)
ベニヤ [～板]	マカオ (地)	モスクワ (地)

モデル	ランプ	レビュー／レヴュー
モリエール（人）	【リ】	レフェリー
モルヒネ	リオデジャネイロ（地）	レベル
モンテーニュ（人）	リズム	レモンスカッシュ
モントリオール（地）	リノリウム	レンズ
【ヤ】	リボン	レンブラント（人）
ヤスパース（人）	リュックサック	【ロ】
【ユ】	リレー	ローマ（地）
ユーラシア（地）	リンカーン（人）	ロケット
ユニホーム	【ル】	ロシア（地）
ユングフラウ（地）	ルーベンス（人）	ロダン（人）
【ヨ】	ルーマニア（地）	ロッテルダム（地）
ヨーロッパ（地）	ルクス lux	ロマンス
ヨット	ルソー（人）	ロマンチック
【ラ】	【レ】	ロンドン（地）
ライバル	レイアウト	【ワ】
ライプチヒ（地）	レール	ワイマール（地）
ラジウム	レギュラー	ワイヤ
ラジオ	レコード	ワシントン（地）
ラファエロ（人）	レスリング	ワックス
ランニング	レニングラード（地）	ワット（人）

付

前書きの4で過去に行われた表記のことについて述べたが、例えば、明治以来の文芸作品等においては、下記のような仮名表記も行われている。

キ：スキフトの「ガリヴァー旅行記」 エ：エルテル ヲ：ヨルポール ヴ：ヴィオリン

ギ：ギオロン エ：エルレエヌ ヲ：ヨルガ デ：ケンブリッジ ツ：ワーツワース